まちネット岸和田会合録（’０６/６/２８）

日　　時　　平成１８年6月２８日（水）　　１８：３０～２０：５０

場　　所　　市立公民館

出席者（記帳順）

松阪正純、陣川美佐、昼間光一、中川麗子、山本光洋、田中米蔵、上田　進、中村富和、東山千恵、三好こず枝、安江多恵子、川崎舜平、今村信彦、釣本　健、宮脇孝子、中　眞茅子、畑　千里、池阪雄宏、野村恵子、相良長昭、栄沢直子、秋山倫子、風間美穂、野路義幸、春木秀一、西川照彦、今崎照子
進行）池阪　　記録）中村

Ⅰ．配布資料
- きしわだ自然友の会関連資料、ｆｒｏｍ　Ｍ（第２２号）
- 「地球の体温、いま、何℃？」関連資料

Ⅱ．進め方：６月（偶数月）はゲストを招いてお話を願う。
○ 今月の講師は**きしわだ自然資料館学芸員の風間美穂氏**
テーマ：「鳥の目からみると～きしわだ１億年～」
１．池阪氏より、「出会い・交流の場：まちづくりネットワーク岸和田」について、「まちネットとは？」、「出入り自由のまちネット４原則」、「支え隊とは」等につき簡潔な紹介があった。
２．風間美穂さんの講演

風間　美穂さん（岸和田のトリ博士）

風間美穂さんの横顔

風間さんは、小さい頃から自然に触れ合う機会が多く、気がつけば「自然」と「鳥」が大好きになっていました。
現在、日本で確認されている鳥は約６００種類ですが、岸和田ではそのうち約２００種類が確認されています。
「鳥にとって住み良いまちは、人間にとっても住み良いまち！」と語る鳥博士の風間さんは、「これからも岸和田では『鳥』と『人』が共存できるまちであって欲しい」と願いながら、日夜研究活動に励んでおられるバイタリティに富んだ方です。

○ 岸和田というまちの生成から、今日に至る自然、そこに生息する動植物・鳥たちの進化の過程、人間との関わりを、次々と変わる画面をもとに話を進められた。フィールドワークに裏打ちされた深い学識を、ユーモアを交えた軽妙な語り口でお話しされ、市民に解かり易い岸和田の自然の鳥瞰でした。
○ 使用された３７枚の画面の主なタイトル・内容は次の通り。

＜“鳥の目からみると”～きしわだ１億年～＞
- 鳥の祖先はいつごろから　　鳥が発生したのは約１．５億年前
- 岸和田の生い立ち：大阪層群（約１００万年前）、和泉層群（約６８００万年前）、領家花崗岩群（約１億年前）
- 今の日本列島と岸和田
- 動く岸和田（約１.３億年前）（約７０００万年前）（約２３００万年前）（約５００万年前）（約６０万年前）

・　岸和田周辺でみつかる化石
・　鳥の目からみた岸和田の住み心地
・　岸和田の自然　　こんなところが特色
・　山地と鳥（和泉葛城山周辺）　　108 種が確認されている。
・　山にいる鳥
・　神於山の自然と鳥　　９８種が確認されている。
・　里山・神於山の鳥たち
・　丘陵地と鳥（蜻蛉池周辺）　　・農耕地の鳥たち
・　丘陵地のため池と鳥たち　　・ため池で子育てする鳥たち　　・ため池にやってくる冬鳥たち
・　こんなのも来た！　岸和田の池　　久米田池は鳥の国際空港　　１２５種の飛来を確認
・　まちと鳥　　・お城にいる鳥たち　　・市役所周辺にやってきた珍客
・　岸和田の山地・丘陵地・平地でちがうこと
・　岸和田ベイエリアと鳥　　・海辺と埋立地の鳥
・　いまの岸和田にやってきにくい鳥
・　人と鳥とのよりよい関係をめざして　　～わたしたちができること～

○　出席者に対し「身近な鳥や生きものに興味を持って欲しい。」、「定期的に決まった場所で自然観察をして欲しい。」
○　「将来、自分の子どもや孫達に、こんな環境を残したいという気持ちで自然と向き合って欲しい。」と締めくくられました。

３．出席者自己紹介と感想（３０秒目途）

○出席者が順次、自己紹介と講演についての感想を述べた。
・各自、日頃の身近な鳥との関わりを述べた。{・ムクドリの大集団　・猫と鳥　・中国の鳥の減少　・植物観察と鳥　・天の川とゴイサギ　・　市役所の鳩の害　・久米田池での鳥の写真　・すずめの減少　等々}
○大阪、堺、貝塚、忠岡と市外からの参加や初参加の方も多くあり、「まちネット」としては喜ばしい傾向の会合であった。

４．講演への質疑

（主な質問）
●　鳩の話：鳩の害、退治方法、市役所の鳩
⇒退治方法は現在のところない。鳩に餌を与えないことが最も有効。
●　カワウの話：カワウが増え養魚に被害が多発、対策は。
⇒全国レベルの対策が課題。ブラックバスの増加とカワウの増加に相関関係があるとの仮説がある。
人間が壊した生態系に乗っかって勢力を拡大する外来生物が出てくる典型か。

●　そのほかの質問、意見など
・岸和田で雀が減ったのか。　・ムクドリと雀の関係
・岸和田でカラスの害が少ないわけ。　・カラスは人の言葉が解かるのか。　カラスはどのくらい子を産むか。
・ツバメの巣の守り方。　・鳥の数え方。

「鳥目は鶏だけ、その他の鳥の殆んどは夜でも目が見える」・・・・・＜新知識！！＞

その他、鳥に関するいろいろな質問があり、風間さんより、逐一、解かりやすい説明がありました。

○ 講演、質疑を通し風間さんの自然や鳥に対する限りない愛情を感じました。岸和田の自然保護のリーダーとして、益々のご活躍を願います。

５．その他

１）各種 PR

・きしわだ環境市民会議、岸和田地球温暖化防止市民協議会より（昼馬氏）

・平成１８年７月２５日　　「はかってみよう、岸和田の暑さ」「きしわだ打ち水大作戦！」の実施要領説明と協力依頼

（配布資料の説明）

２）「まちネット」今後の予定（池阪氏）

７月度（２６日）はゲストなし。８月、10 月はゲストスピーカー編（誰になるかは秘密です）。

＜次回　支え隊　７月１２日　　まちネット　７月２６日＞

以　上

（０６．７．５）